

(1) 実施機関名：

(独) 防災科学技術研究所

(2) 研究課題(または観測項目)名：

火山観測網整備

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

イ. 地震発生・火山噴火の可能性の高い地域

(4) その他関連する建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

ア. 日本列島域

4. 計画推進のための体制の強化

(1) 計画を推進する体制の整備

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

「今後の大学等における火山観測研究の当面の進め方について」(平成 20 年 12 月 15 日)により重点的に火山観測網を整備することになった火山について、基盤的な火山観測施設を整備し、火山研究に有効な観測データを収集する。これらの観測データは関係機関に流通させ、火山噴火予知研究や火山の監視に活用できるシステムを構築する。また、この観測網により取得されたデータにより、対象火山の火山活動を把握する。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

火山観測網を整備する対象火山に孔井式地震計・傾斜計、広帯域地震計、GPS 観測装置を備えた観測施設を整備し、データをつくばの防災科学技術研究所に伝送し、保存するとともに関係機関に流通し、関係機関で活用できるシステムを構築する。

平成 21 年度は、有珠山、岩手山、浅間山、阿蘇山、霧島山で観測網整備に着手し、以後、順次対象火山を広げるとともに、観測点数を増強する。またデータ保存、流通、公開のためのシステムを順次、整備していく。

(7) 平成 24 年度成果の概要：

平成 21 年度以降に整備した火山観測点や気象庁等のデータ保存し、流通・公開を進めた。

(8) 平成 24 年度の成果に関連の深いもので、平成 24 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

(9) 平成 25 年度実施計画の概要：

有珠山や岩手山、浅間山、阿蘇山、霧島山、草津白根山に加え、北海道駒ヶ岳等の火山に対しても、観測点数を増強する。また、観測点増加に伴うデータ保存、流通、公開のためのシステムを整備していく。

(10) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

独立行政法人防災科学技術研究所 観測・予測研究領域地震・火山防災研究ユニット

他機関との共同研究の有無：有

東京大学地震研究所、東京工業大学、京都大学、北海道大学、東北大学、九州大学など、対象とする火山で連続観測を実施している機関の協力を得て実施。

(11) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：防災科学技術研究所 アウトリーチ・国際研究推進センター

電話：029-851-1611

e-mail：toiawase@bosai.go.jp

URL：http://www.bosai.go.jp/index.html

(12) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：棚田 俊收

所属：観測・予測研究領域地震・火山防災研究ユニット